

『技術・家庭科（技術分野）』 模擬授業課題

(1) 日 時 令和6年〇月〇日 第4校時(50分)

(2) 場 所 パソコン室

(3) 学年・学級 第3学年4組(25名) 使用教科書 New 技術・家庭(技術分野) P220～223

(4) 題 材 名 「双方向性のあるコンテンツの技術を知り設計をしよう」

(5) 指導する生徒の状況

【既習事項】

前時までに、情報セキュリティや情報モラルを学習し、ふだん使用しているスマートフォン等の利便性や危険性についても一定理解できている。

【題材のねらい】

ここでは既習した内容を踏まえ、双方向性のあるコンテンツによる問題解決の必要性を理解し、生活の中から問題を発見し、構想を具体化し、設計をまとめる手順を学ぶ。

【生徒の状況】

個々の生徒が、様々なアプリを使いこなし、友達とネットワーク上でコミュニケーションをとったり、情報収集や情報発信をしているが、それらのコンテンツがどのような仕組みで利用できるようになっているか等については、理解できていない。

(6) 指導計画(全10時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次 (1時間・本時)	1 双方向性のあるコンテンツの技術を知ろう ○双方向性のあるコンテンツの利用と仕組み(220～221) 2 双方向性のあるコンテンツの設計のしかたを知ろう ○問題を発見する(P222～223)	一斉 個別 班	知識・技能 主体的に学習 に取り組む態 度
第2次 (2時間)	2 双方向性のあるコンテンツの設計のしかたを知ろう ○構想を具体化する(P224～225) ○設計をまとめる(P226～227) 3 設計を図で表す方法を知ろう(P228～231)	一斉 個別 班	思考・判断・ 表現 主体的に学習 に取り組む態 度
第3次 (5時間)	4 設計に沿った双方向性のあるコンテンツを制作しよう ○個別に設定した課題解決のプログラミング作成	個別 班	思考・判断・ 表現 主体的に学習 に取り組む態 度
第4次 (2時間)	5 発表会 学習の振り返り・まとめ	一斉 個別	思考・判断・ 表現

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。